

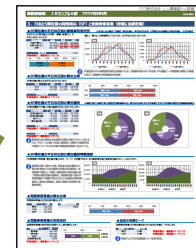
2022 年 3 月 17 日
株式会社日立製作所

首都圏における駅エリアのマーケティング情報を提供するサービス 「Station Finder for Area Marketing」を開始

JR 東日本が開発・提供する首都圏約 600 駅の各駅の利用状況を示す
定型レポート「駅カルテ」(PDF・統計情報)を販売



Station Finder for Area Marketing



駅カルテ

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、東日本旅客鉄道株式会社(以下、JR 東日本)が手掛ける首都圏約 600 駅の各駅の利用状況を示す定型レポート「駅カルテ^{*1}」(PDF・統計情報)の販売パートナーとして、専用 Web サイト「Station Finder for Area Marketing」を立ち上げ、「駅カルテ」の販売に関する事前申し込みの受付を開始し、5 月より提供を行います。

JR 東日本が開発・提供する「駅カルテ」は、駅改札を Suica^{*2} で入出場する際に記録されるデータ^{*3}をもとに、駅利用者の年代、性別など、属性の傾向や利用者数などの統計情報を提供する定型レポートであり、大規模イベントの効果検証や、駅近くに立地する店舗のマーケティングといったまちづくりの検討などに活用できます。

日立は、本サイト上で、駅の周辺エリアでビジネスを行う小売業や飲食業、不動産業をはじめとする企業や自治体向けに、幅広く「駅カルテ」の販売を開始します。

^{*1} JR 東日本ニュースリリース(2022 年 1 月 20 日)「Suica 統計情報の定型レポート「駅カルテ」について」

https://www.jreast.co.jp/press/2021/20220120_ho01.pdf

JR 東日本ニュースリリース(2022 年 3 月 16 日)「Suica 統計情報の定型レポート「駅カルテ」の販売を開始します」

https://www.jreast.co.jp/press/2021/20220316_ho01.pdf

なお、「駅カルテ」は JR 東日本が、国内において商標登録出願中です。

^{*2} 「Suica」は JR 東日本の登録商標です。「Suica」は JR 東日本が発行する IC カードです。

^{*3} JR 東日本がお客さま個人を識別されないよう統計処理して作成。データ使用を希望されないお客さまについて、JR 東日本は集計から個別にデータ除外を受付中 <https://www.jreast.co.jp/suica/corporate/suicadata/index.html>

駅の周辺エリアでビジネスを行う企業にとって、出店計画や広告・宣伝企画といったビジネスプランの策定に際し、ターゲット層である駅利用者の年代や行動の傾向を把握することは非常に重要です。また、昨今、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、三密(密集・密閉・密接)回避のための生活様式の変化や、在宅勤務をはじめとするテレワークの導入が進むなど、人の移動に大きな変化が生じ、駅利用者に関する統計情報の把握がますます重要となっています。

本サービスは、定額で自由に「駅カルテ」を利用できるサブスクリプションモデルで、毎月追加される「駅カルテ」を本サイトのマップから自由に駅と年月を選択して閲覧・ダウンロードすることが可能です。また、本サイトでは、ブラウザ上で、駅利用者数などのランキング、性別・年代や平日・休日の利用者傾向といった条件による候補駅の絞り込み、駅間での比較検討ができるなど、「駅カルテ」の選定を容易にする独自サービスを提供しています。

「駅カルテ」を利用して、立地ごとのターゲット層の行動傾向を過去の情報を含めて分析することで、新型コロナウイルスの影響などによる人の移動の変化を把握し、社会変化を踏まえたマーケティング施策を検討することも可能です。

日立は、デジタルイノベーションを加速する Lumada^{*4}をはじめ先進の技術・ソリューションを活用することで、ビルや駅、生活・社会インフラ、モビリティなど「まち」を支える多彩な分野の顧客と協創し、新たな価値の提供を支援してきました。本サービスを通じて、駅利用者の実態や変化に即応した「駅カルテ」を提供することにより、駅周辺ビジネスを手掛ける利用企業のさまざまな課題解決につなげるとともに、新たなビジネス展開を支援します。

*4 Lumada:お客さまのデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するための、日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション・サービス・テクノロジーの総称。 <https://www.hitachi.co.jp/lumada/>

■「Station Finder for Area Marketing」に関する Web サイト

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/stationfinder/index.html>



専用 Web サイト トップ画面

■サービスの価格および提供開始時期

・対象駅：首都圏エリアを中心とした約 600 駅※

エリアマップ(<https://www.jreast.co.jp/suica/area/tokyo/pdf/tokyomap.pdf>)

※新幹線単独駅や SuicaSF 利用（チャージで都度利用）のご利用で 1 か月 1 日平均 100 人未満の駅等は除く。

・レポートの対象期間：2017 年度以降のデータ(毎月レポート追加)

プラン	期間	サービス内容	価格(税別) ^{*5}	提供開始時期
Standard ^{*6}	3 か月 プラン (400 レポート)	・専用 Web サイトのマップから自由に駅を選択し PDF 形式のレポートを閲覧・ダウンロードが可能 ・専用 Web サイトでは、ブラウザ上で、ランキングや絞り込み・駅比較機能により「駅カルテ」の選定をサポート	240 万円 ^{*8} 【 80 万円/月 】	2022 年 5 月
	6 か月 プラン (600 レポート)		360 万円 【 60 万円/月 】	
	12 か月プラン (999 レポート)		600 万円 【 50 万円/月 】	
Light ^{*7}	3 か月 プラン	専用 Web サイトのマップから自由に駅を選択し、駅カルテの情報の一部を使った簡易版レポートを閲覧可能	6 万円 【 2 万円/月 】	

*5 各メニューの支払い単位は、契約期間の合計となります。

*6 プランごとの上限数のレポートまで利用可能。レポート利用期間は各プランの期間内となります。

*7 最新月のみの提供となります。閲覧の駅数の制限はありません。

*8 新規に Standard3 か月プランをご契約の場合、10 月までのお申込み限定で 30% 割引の価格で提供します。

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーで社会インフラを革新する社会イノベーション事業を通じて、人々が幸せで豊かに暮らすことができる持続可能な社会の実現に貢献します。「環境(地球環境の保全)」「レジリエンス(企業の事業継続性や社会インフラの強靭さ)」「安心・安全(一人ひとりの健康で快適な生活)」に注力しています。IT・エネルギー・インダストリー・モビリティ・ライフ・オートモティブシステムの 6 分野で、OT、IT およびプロダクトを活用する Lumada ソリューションを提供し、お客さまや社会の課題を解決します。2020 年度(2021 年 3 月期)の連結売上収益は 8 兆 7,291 億円、2021 年 3 月末時点で連結子会社は 871 社、全世界で約 35 万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所「Station Finder for Area Marketing」コールセンタ

電話： 03-5613-3925

問い合わせフォーム: <https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/stationfinder/form.jsp>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
